

記入例

令和 ○○年 ○○月 ○○日 上野原市長 殿	整理番号	
住所 〒○○○-○○○○ ○○県○○市1-2-3	フリガナ	ウエ/ハラ ハナコ
	氏名	上野原 花子
	個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
電話番号 ○○○-○○○-○○○	性別	男 女
	生年月日	明・大・昭 平・平 ○○年○○月○○日

第五十五号の五様式（附則第二条の四関係）

枠内の項目（日付、住所、電話番号、氏名（フリガナ）、個人番号（マイナンバー）、性別、生年月日）をすべて記入

個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用）を記載してください。

条の2（第314条の7）第2項に規定する特例控除対象寄附金（以下「特例控除対象寄附金」という。）について、同法附則第7条第1項（第8項）の規定による寄附金税額控除の適用を受けようとするときは、下の事項を記載してください。

（注1） 上記に記載した内容に変更があった場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請事項変更届出書を提出してください。

（注2） 申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第7条第6項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第4号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項を記載した確定申告書又は市町村民税・道府県民税の申告書を提出してください。

寄附をした年月日を記入

寄附金額を記入

寄附年月日	寄附金額
令和 ○○年 ○月 ○日	10,000 円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の口にチェックをしてください。

① 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である

（注） 地方税法附則第7条第1項（第8項）に規定する申告特例対象寄附者である者（以下「特例対象寄附者」という。）は、ふるさと納税以外で確定申告を行う必要がない場合、チェックをしてください。チェックがない場合（該当しない場合）はワンストップ特例制度の対象となりません。

② 地方税法附則第7条第2項（第9項）に規定する要件に該当する者である

（注） 寄附をする自治体数が、年間で5つ以下である場合チェックしてください。チェックがない場合（該当しない場合）はワンストップ特例制度の対象となりません。

ワンストップ特例を受けることが出来るのは、両方にチェックが付く場合のみとなります。

住所	〒○○○-○○○○ ○○県○○市1-2-3	受付日付印
氏名	上野原 花子 殿	

ご自身の住所・氏名をお書きください。

受付団体名

- 申請書は寄附を行った翌年の1月10日までに以下に郵送してください。
（〒400-0864 山梨県甲府市湯田二丁目12-18 上野原市ふるさと納税サポート室宛）
※上野原市はふるさと納税業務をシフトプラス㈱の一部委託しております。
- 住所等に変更がある場合も寄附を行った翌年の1月10日までに変更届を提出して下さい。
（上記と同じ住所へ）
- 左記の記入例の青字で書かれている部分をご記入ください。
- この申請書は1回の寄附ごとに1枚提出してください。
- 提出前に必ず書類の内容や注意書きをお読みください。



受付

重要



個人番号について

平成28年寄付分から個人番号（マイナンバー）を記入していただくようになりました。それに併せてなりすまし防止のための書類も提出していただく必要があります。

個人番号カードを持っている方
→カードの表と裏のコピー

個人番号カードを持っていない方
→通知カードと身分証（運転免許証・パスポート・身体障がい者手帳等顔写真が付いている官公署から発行されたもの）